

# 防災だより

その18

防災専門官 石川 秀俊

## 早めの避難を！ 土砂災害、 河川の氾濫に伴う浸水

梅雨の後半にさしかかり、長雨や集中豪雨による風水害の危険性が增大する時期となりました。今月は、土砂災害、河川の氾濫に伴う浸水についての注意事項を記述しますの

### 土砂災害

地面にしみ込んだ雨水などで弱くなった急な崖地や斜面が崩れ落ちる「がけ崩れ」や、谷や斜面に溜まった土砂が大

山などの状況を確認するため外に出て見に行くことは、災害に巻き込まれる危険性がありますので、絶対にやめてください。

### 河川の氾濫に伴う浸水

大雨時は、流木などが重なり合い、堰となり河川が氾濫することがあります。市のハザードマップに記載している浸水想定区域以外の川沿いの地域も注意が必要です。河川の水位は急激に上昇することがあり、避難をするのが間に合わないことがあります。豪雨時は水路や側溝なども溢れ出し、道路と水路の見分けがつかなくなる場合もありますので大変危険です。避難が遅れて、家の周辺で浸水が始まった場合は、無理に避難せず2階建ての家は2階に、平屋の家は努めて近くの2階建ての家へ避難してください。また、河川の状況を見に行かれる人がいますが、川に流される危険があります。非常に危険ですので絶対に見に行か

ないでください。

### 気象・避難情報に注意し、 早めの避難を！

大雨時は、テレビやラジオ、インターネットなどの気象情報に十分注意するのはもちろんですが、市は水位状況や土壌雨量指数、気象状況などから避難準備情報、避難勧告、避難指示等の情報をコミュニティ無線や防災メール「まもるくん」、避難情報等配信サービスなどで状況に応じ段階的に発信します。市が発信する情報に十分注意し、早めの避難を心がけてください。災害で被害にあう人のほとんどは、逃げ遅れによるものです。あらかじめ近くの避難所、避難経路、家族の連絡方法などを事前に確認し、非常持出品を準備しておくことが大切です。災害から身を守るための一番の行動は早めの避難です。緊急時は、命を守る行動をとってください。

### 災害発生予想危険箇所 調査を実施しました

5月20日(水)に、梅雨、台風などの出水期において市内の浸水、土砂災害などの発生が予想される箇所を筑紫野太宰府消防本部、太宰府消防署、陸上自衛隊第4後方支援連隊、筑紫野警察署と市の関係機関で現地調査を実施しました。調査結果は、6月1日(月)に開催しました太宰府市防災会議で各関係機関へ報告しました。

問い合わせ 防災安全課

(☎内線519)



現地調査風景

避難勧告などの災害情報を  
直接お知らせします。

### 災害情報等配信サービス 登録が必要です

本市から発信する避難勧告などの災害時の情報を電話、ファクス、電子メールへ直接配信するサービスを行っています。



電子メール



電話



ファクス

登録方法…災害情報等配信サービス登録申請書に必要事項を記載の上、防災安全課へ提出してください。申請書は、市役所3階防災安全課窓口及び市ホームページから取得できます。

問い合わせ 防災安全課

(☎内線519)